

Think of Next

CSR報告書 Vol.1



中特グループ

株式会社 中特ホールディングス

中国特殊株式会社 株式会社 吉本興業

株式会社 「」ラフ 株式会社 藤井興業

すべては次世代のために・・・“Think of Next”

いつも環境のこと、社会のこと、
子どもたちのこと・・・を考えています。



ロゴマークに込められた意味は、
地球の環境をグローバルに考えていくという
姿勢をシンボライズします。
そして、eco の『e』をモチーフに
伸び行くさまを印象づけます。

編集方針

この報告書は私たち中特グループが社会・環境活動の報告を通してステークホルダーの皆様と対話を図る目的で発行しました。作成に当たっては、環境省の環境報告書ガイドライン（2012年版）及びISO26000を参考にしました。

尚、ウェブサイトにおきましても逐次社会・環境活動等を記載紹介しています。

◆対象期間

2012年12月～2013年11月
（一部2012年11月以前の活動報告を含む）

◆対象範囲

株式会社中特ホールディングス
中国特殊株式会社
株式会社吉本興業
株式会社リライフ
株式会社藤井興業

◆発行時期

2014年2月

◆お問合せ先

株式会社中特ホールディングス
環境安全推進室
山口県周南市大字久米3078番地の1
URL <http://www.chutoku-g.co.jp>
TEL 0834-26-0500
FAX 0834-25-2856

CONTENTS

編集方針、目次	1-2
トップメッセージ	3-4
中特グループの紹介、組織、理念信条	5-6
中特グループの事業内容	7-8
環境活動	
環境方針	9
環境目的と目標、実績	10
サーベイランス審査	11
カーボンオフセットの取組	12
その他の環境活動	13-14
地域社会とのかかわり	
高齢者等見守り活動、いきいきサロン	15
地域活動・行事への参加他	16-17
災害復旧支援、ボランティア活動	18
お客様とのかかわり	
お客様満足度調査、Happy/Happy勉強会	19
ポータルハートデスク、T-POINTサービス	20
やまぐち総合ビジネスメッセ、法務セミナー	21
社員の研鑽と親睦活動	
事業発展計画発表会、表彰他	22-23
自己啓発、各種勉強会、リレーマラソン、 旅行・親睦会他	24-26
安全衛生・防災活動	27-28
採用活動と人事制度	29
編集後記、会社概要	30

トップメッセージ



私たちの生活から出たものの全てを適正に処理します。 「快適環境創造企業」として日々情熱を持って行動します。

グループコンセプト

私たち中特グループのコンセプト、それは「私たちの生活から出たものの全てを適正に処理する」です。

様々な廃棄物を可能な限り有効活用しそれを社会に還元することで、次世代の環境を守りたいと考えております。「環境」という事業領域を通して地域社会に貢献する、未来の子供たちに美しい環境を残す、そのために社員一丸となり地域の皆様に必要とされる企業で在り続けます。もはや通常化してしまった「異常気象」、年に何度も発生する「数十年に一度の豪雨」、今や地球環境問題は待ったなしの最重要課題です。私たちに出来ることはほんの僅かではありますが、知恵と努力で少しでもお役に立ちたいと考えております。

私たちは「快適環境創造企業」として日々情熱を持って行動して参ります。



創立50周年に向けて 目指すポジション

グループ会社の一つである中国特殊は、2015年に創立50周年を迎えます。

節目の50周年を迎えるにあたり、目指すポジションを「地域と社員から愛され必要とされる会社」とし、あるべき姿を描いております。

- ・中国地区でお客様満足度ナンバーワン企業を目指す
- ・徹底した法令順守で業界ナンバーワン企業を目指す
- ・社員の元気度ナンバーワン企業を目指す

- ・固有技術を磨き「収集運搬業からサービスマニヤ」へ「処理業から製造業」への転換を目指す

以上のビジョンの実現のため、様々な視点から年度目標を設定し、社員一人ひとりの行動計画に落とし込み確実に実行して参ります。

事業活動を取り巻く現況と業績

昨今、自然環境の変化による様々な災害や新型インフルエンザ等、強毒性の伝染病が私たちの生活を脅かしております。

何よりも「安心安全の確保」が第一、私たちの仕事である廃棄物処理、下水道維持管理業務の必要性が強く認識される時代が来たと言えるでしょう。

一方で、少子高齢化が加速するためシルバー世代への愛情溢れる「量より質」を追求したサービスの需要が高まって参ります。

このような状況の中、中特グループでは地域に暮らすすべての皆様の「お困りごと」に何でもお応えできるよう「ポータルハートデスク」を設置し、高付加サービスの提供に取り組んでおります。

2012年度の業績はグループ総売上11.6億円（前年対比+0.6%）でしたが、2014年度には18億円を目指しております。

ISO14001と 環境負荷低減活動の取り組み

ISO14001については、平成14年に認証取得後11年が経過し、今年4回目の更新審査が予定されております。

環境マネジメントシステムの導入により、社員の意識向上、環境負荷低減活動などを実現しておりますが、お客様視点で考えること、作業手順の継続的な見直しによる作業の質の向上にまでは至っておりません。

社員一人ひとりが経営方針、環境方

針をより理解し、ハイレベルのPDCAサイクルを回して行くには更なる成長が必要です。

私たちの目指す頂上（あるべき姿）はまだまだ遥かに遠くにあります。私たちは確実に一步一步前進して参りますので、どうぞ暖かく見守って頂きたいと思っております。



CSR報告書発刊と新しい ビジネス価値観の取り込み

私たちは、地域と社員から愛され必要とされる会社を目指すべきポジションとしておりますが、このたびステークホルダーの皆様へのCSR報告書を創刊することに致しました。

グループの現況、社会貢献、地域との関わり、環境との関わり、安全衛生活動、社員の研鑽、親睦活動など私たちの活動状況を知って頂き、ステークホルダーの皆様からいろいろなご意見やご指摘を賜りたいと思っております。

まだまだ発展途上の私たちではございますが、発刊を機に今後より一層、環境、CSRの観点から新しいビジネスを生み出し、皆様のお役に立てるよう精進して参りますので、今後とも何卒ご指導のほどよろしくお願い申し上げます。

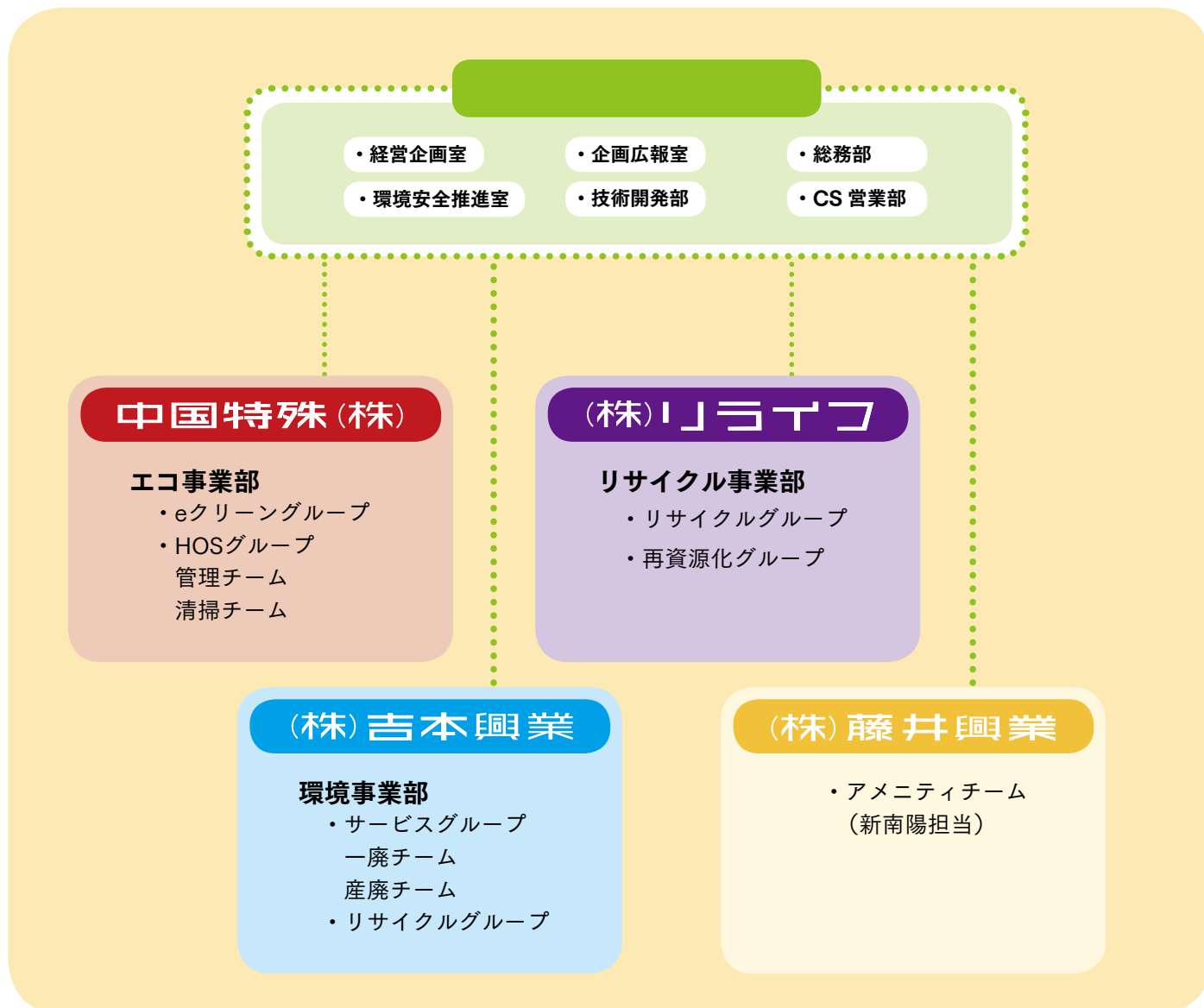
2014年1月

中特グループ 副代表

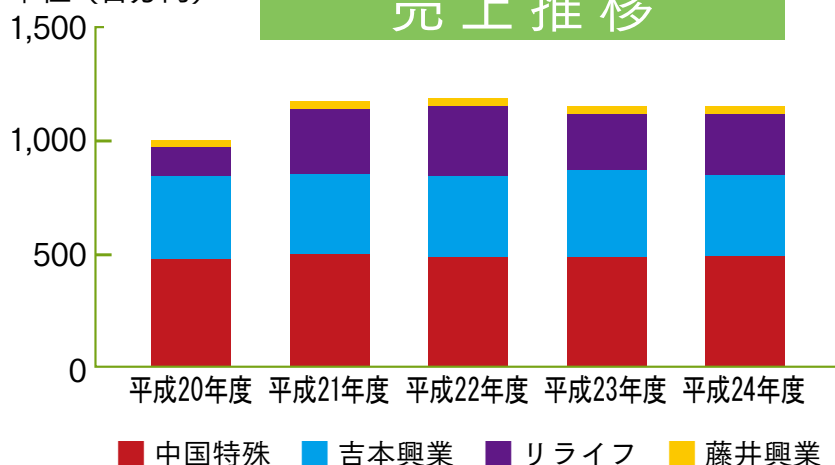
橋本 ふくみ

中特グループの紹介

組織体制



単位 (百万円)



理念信条

スローガン

いつも明るく元気良く、関わる人たち全てに元気を与えるグループになろう。

ミッション

私たちは限られた資源の有効活用を促進し、地球環境の保護に貢献するとともに、生活環境を豊かにします。

私たちの目指すもの

- 1.立派な人、立派な社会人になる
- 2.経済的に豊かになる
- 3.社会から認められる会社になる
- 4.誇りが持てる会社になる
- 5.努力が報われる会社になる

私たちの合言葉

“現実を見よう、外を見よう、先を見よう”

- 1.私たちは、お客様とHappy/Happyの関係を築きます
- 2.私たちは、倫理綱領を遵守し、コンプライアンスを徹底します
- 3.私たちは、一人ひとりが日々成長に努め、少数精鋭集団を目指します
- 4.私たちは、“できない”という言葉は言いません。出来る方法を徹底して考えます

社員の行動指針

中特グループの社員は、日々の仕事の中で「情熱Passion」を持ち、以下の行動の中で常に意識します。

Professional 〈高い専門性〉

それぞれの得意分野を極め、プロ集団を目指します。

Ambition 〈強い志〉

潜在意識に透徹するほど、強い志を持って努力します。

Sincerity 〈誠実な心〉

常に相手の立場になって考え、誠実な心で尽くします。

Speed and Service 〈スピードとサービス精神〉

お客様のニーズをすばやく察知し、最高のサービスを提供します。

Innovation 〈絶えざる革新〉

目標は高く、今日よりは明日へと常に革新に努めます。

Optimism 〈プラス思考〉

失敗は成功の母、夢と希望を持って取り組みます。

Never give up 〈決してあきらめない〉

打つ手は無限、常に可能性を追求します。

グループ倫理綱領

■ お客様に対する姿勢

誠実な対応はもちろん、安全で安心できる商品、サービスの提供を行います。また、守秘義務と適正な情報管理を徹底していきます。

■ 社員相互の姿勢

人権の尊重と多様な価値観を受容する風土を育み、誇りの持てる社員・会社として、自己責任の意識を大切に支援して参ります。

■ 取引先に対する姿勢

パートナーシップを築き上げ、契約の厳守を徹底し、公正な取引に取り組みます。

■ 地域社会に対する姿勢

廃棄物の減量・適正な処理とリサイクルについて意識を高め、環境汚染の防止を推進、地域活動への積極的参加も目指します。

■ 業界に対する姿勢

公正な競争を遵守し、権利の尊重と保護を大切に、業界トップを目指します。

■ 行政に対する姿勢

法令遵守を徹底し、反社会的勢力との関係を断固拒絶します。また、明朗な会計報告でクリーンな企業運営をします。

中特グループの事業内容

廃棄物の処理事業と下水道事業を柱に、グループ各社の専門技術を活かし、環境の改善と保持、またご提案までを含めたトータルな環境事業に取り組んでいます。

産業廃棄物の処理

低・高含水廃棄物の収集・運搬



強力吸引車



水密式ダンプ車

固形廃棄物の収集・運搬



パッカー車



アームローダー車

再資源化处理



污水处理施設



脱塩・脱水処理施設



ふるい分け・混合処理施設

放流

セメント
原料

リサイクル処理



破碎処理



選別処理

種類別に
リサイクルへ

一般廃棄物の処理

- ・ 家庭ごみの収集
- ・ 不用品処理
- ・ 遺品整理
- ・ 生前整理
- ・ し尿の収集運搬
- ・ 浄化槽の維持管理
- ・ その他



家庭ゴミの収集



遺品整理



し尿の収集運搬



浄化槽の維持管理

下水道・排水管の維持管理

管内調査



- ・ 管渠内 TV カメラ調査
- ・ 流量調査
- ・ 目視調査
- ・ 水密性調査
- ・ 誤接合調査

管更生・部分補修



- ・ オールライナー工法
- ・ EX 工法
- ・ ダンビー工法
- ・ パートライナー工法
- ・ パートライナー S 工法
- ・ サイドライナー工法
- ・ クリスタルライニング工法

管内・側溝清掃



- ・ 高圧洗浄車
- ・ 強力吸引車

システム設計・施工事業

- ・ 排水処理システム
- ・ 実験廃水処理システム
- ・ 工業廃水処理システム
- ・ 農業集落廃水処理システム
- ・ 有機物含有水処理システム
- ・ 排水洗浄システム

コンサルティング事業

- ・ 下水道
- ・ 環境アセスメント
- ・ 環境分析

こんなことも
やっています



リサイクル×エコ×新しい価値 → ダチョウ!?

ダチョウ飼育で 食品リサイクル事業

スーパーやレストランなどで発生する食品残渣のリサイクル方法として、ダチョウによる食品リサイクル事業に取り組んでいます。

ダチョウの寿命は50～60年と長く、雑食性で1羽が1日に10kg 近くの野菜を食べます。

これまで市の焼却場に持ち込み燃料を使って焼却処理していた野菜などをそのまま食べてくれ、処理のための施設や燃料を全く必要としません。加えてダチョウは鶏の卵の25倍もある大きな卵を生みます。

また近年では、ダチョウの卵から、インフルエンザ等の抗体を多量に抽出できる可能性があり注目されています。

現在下松市東海岸通りにある下松工場で7羽のダチョウがすくすくと育っています。今後にご期待ください。



環境活動

私たちは、事業活動によって地域環境や地球環境を汚染することがないように十分に配慮します。

私たちは地球の環境をグローバルに考え、生活から出たものすべてを処理再生させるというコンセプトのもと、グループのネットワークを活かし、限りある資源を大切にする循環型社会の一役を担います。

環境方針

基本理念

中国特殊グループは地球上の全人類及び地域社会とともに「持続可能な発展」をするために、「環境の保全に努め、環境に優しい企業活動を行います」。

環境方針

限られた地球資源の有効活用を促進し地球環境に貢献するとともに、生活環境を豊かにします。

1. 当社グループは、一般廃棄物、産業廃棄物の収集運搬、処分、及び再資源化、水処理等の全事業活動から生じる環境影響を的確にとらえ、次の項目について重点的に取り組みます。
 - (1) 当社グループの事業活動の信条に則り、民間企業及び官公庁から委託される廃棄物の適正処理に努める事はもとより、廃棄物の再資源化拡大に積極的に取り組みます。
 - (2) 汚泥処理を拡大し環境影響負荷の軽減を図ります。
 - (3) 工場で使用する電力の原単位向上を目指します。
 - (4) 地域社会との協調を念頭に置き、地域及び職場の環境美化に努めると共に、各種勉強会の開催等を通じてお客様とのコミュニケーションを図ります。
2. 環境マネジメントシステムと環境パフォーマンスの継続的改善を行い環境汚染の予防等の環境保全に努めます。
3. 環境方針の達成のために、当社グループは環境目的・目標、環境マネジメントプログラムを策定し、環境保全活動を推進します。
4. 環境側面に関する法規制、その他の要求事項を明確に遵守します。
5. 環境方針は当社グループで働く全社員及び当社グループのために働く全ての人に周知します。またこの環境方針は社外に開示します。

平成24年8月10日

中特ホールディングス社長

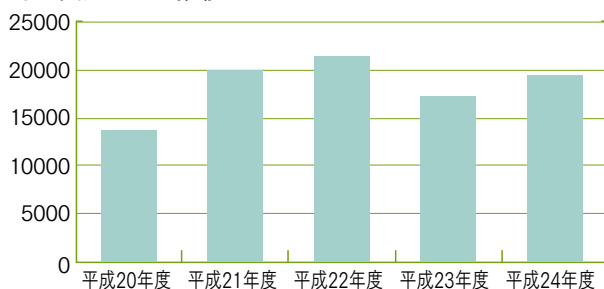
橋本 ふくみ

環境目的と目標

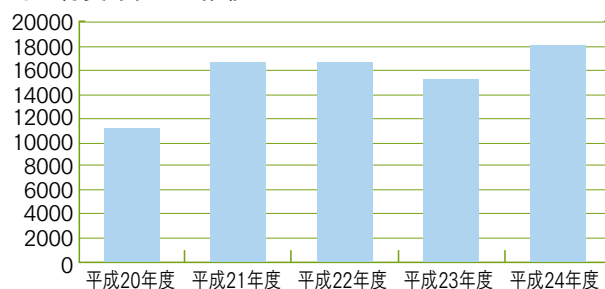
環境目的	施策	達成目標	平成23年8月～平成24年7月	平成24年8月～平成25年7月	平成25年8月～平成26年7月
被処理物受入物の拡大	顧客拡大、定期訪問 計画的営業活動	平成22年度の +15%	平成22年度の+5%	平成22年度の+10%	平成22年度の+15%
再資源化の拡大	営業部・現場の密接 な情報交換	平成22年度の +15%	平成22年度の+5%	平成22年度の+10%	平成22年度の+15%
一般廃棄物の再資源化	各実行部門施策 実行の監視	平成22年度の +15%	平成22年度の+5%	平成22年度の+10%	平成22年度の+15%
工場電力原単位の向上	効率的な運転実施 積極的な改善提案 電力削減の実施	平成22年の電力 原単位3%向上	平成22年度の1%向上	平成22年度の2%向上	平成22年度の3%向上
リライフ排水のリスク低減	自主基準値超過警報 器の設置	平成25年7月迄に 警報器順次設置	pH 警報器設置	窒素、リン、COD の 警報設置検討	窒素、リン、COD の 警報設置
事故苦情件数の削減	各実行部門施策 実行の監視	平成25年度ま でに事故苦情件 数を0件とする	事故14件、 苦情4件以下目標	事故5件、 苦情1件以下目標	重大事故0件目標 物損事故10件以内 お客様情報600件以上
環境保全の向上	各実行部門施策 実行の監視	5S実施、 構内美化、周辺 道路公園の清掃	1回/月の清掃活動 各実行部門施策 実行の監視	1回/月の清掃活動 各実行部門施策 実行の監視	1回/月の清掃活動 各実行部門施策 実行の監視
資格取得の推進	各実行部門施策 実行の監視	平成22年資格 ポイント+5ポイ ント向上	資格+3ポイント向上 資格取得の計画推進	資格+4ポイント向上 資格取得の計画推進	資格+5ポイント向上 資格取得の計画推進

環境パフォーマンス実績

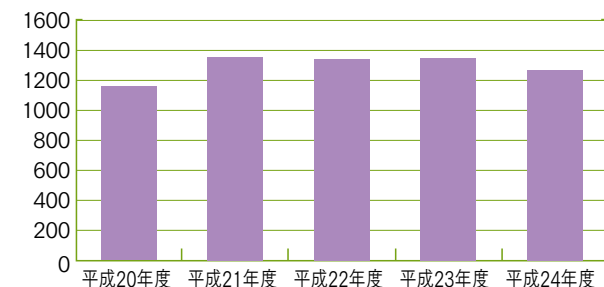
汚泥受入れ量の推移 (トン/年)



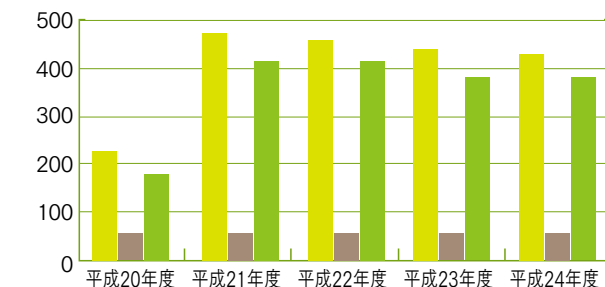
汚泥再資源化量の推移 (トン/年)



一般廃棄物の再資源化量の推移 (トン/年)



電力使用量の推移 (Mwh/年) ■ 全電力 ■ 事務所電力 ■ 工場電力



環境活動

環境ISO10年継続表彰

中特グループでは平成14年にグループ全業務でISO14001取得が完了しました。
平成24年にはISOマネジメントシステム認証を10年間継続し10年継続賞をいただきました。
これからも継続して環境関係の課題の改善・スパイラルアップに取り組んでいきます。



サーベイランス審査

平成 25 年 7 月 8 日～9 日にかけて二年次のサーベイランス審査が行われました。

1 日目オープニングミーティング後、トップマネジメントインタビューに始まり、環境管理責任者・環境管理事務局の審査と続きました。2 日目は現場審査で藤井興業部門、中国特殊部門の審査を受けました。

審査の結果、修正及び是正処置を要求される不適合はなく、改善・向上していると評価された項目が 6 件あり、改善の余地が 3 件ありました。

改善の余地、並びに審査内でご意見いただきました内容について検討し、システムの改善を図っていきます。

要点

a 法的及びその他の 要求事項の順守に関するシステムとパフォーマンス

廃棄物処理法、浄化槽法などの要求事項を「環境法令等登録表兼順守評価記録」にまとめると共に資料やデータ等から適切に運用管理がされ順守状況に問題がないことを確認いただきました。

b 目的目標に関するシステムとパフォーマンス

目的・目標及び実施計画を策定し、確実に実行しており、「汚泥再資源化量の拡大」「排水に対するリスク対策」「電力原単位の向上」などの取り組み項目に対し目標を達成している。

c 内部監査の実施、有効性

内部監査は、平成 25 年 5 月 13 日～5 月 16 日に環境管理規程に基づく内部監査方法により環境マネジメントシステムの適合性、順法状況確認等適切に実施している。

d マネジメントレビューの実施、有効性

マネジメントレビューは平成 25 年 5 月 30 日に実施し、過去 1 年間の EMS 実績について今後への指示も含め適切なレビューがされている。



審査結果評価

JACO 審査員の審査報告内容に対する当社での要約コメント

全体として、環境マネジメントシステムの仕組みの改善や自主向上項目の達成に向けて活動しています。

事業活動と連動した汚泥受入量の拡大、汚泥再資源化量の拡大等事業発展と環境保全の両立を目指した取り組み強化と環境方針に記載する利害関係者とのコミュニケーション活動の更なる充実に期待されています。

「法的及びその他の要求事項の順守・目的目標に関するシステムとパフォーマンス」「内部監査の実施、有効性」及び「マネジメントレビューの実施、有効性」に関しても適切に維持できています。

今後は、当社において課題だと感じている「経営とリンクした EMS 活動」の強化に積極的に取り組んでいきます。

カーボンオフセットの取組

CARBON OFF SET

CARBON FREE CONSULTING

カーボンオフセット証明書
CERTIFICATE OF CARBON OFFSET

カーボンフリーコンサルティング株式会社は、中電技術コンサルタント株式会社と共同で、周南24時間リレーマラソン実行委員会様より提出されたデータをもとに、「第10回 周南24時間リレーマラソン in Yamaguchi」開催における会場での電力使用量や参加者・関係者の交通に係るエネルギー使用量等に係るCO₂排出量を測定し、相当量の排出権を償却移転することにより、カーボンオフセットいたしました。

算定依頼者：中特グループ
算定対象：第10回 周南24時間リレーマラソン in Yamaguchi
排出量算定期間：2013年9月28日～29日
バウンダリ：会場電力使用量
参加者・関係者の交通に係るエネルギー使用量
参加者・関係者の1日の日常生活におけるCO₂排出量の一部
13,000kg-CO₂
(リレーマラソンの走行周回1周あたり0.5kg-CO₂を削減：26,000周回分)

排出量算定日：2013年8月6日
排出権種類：国内クレジット
排出権創出事業者：下松商業開発株式会社
削減事業：下松・星プラザにおける照明設備の更新による省エネ事業
排出権識別番号：00616-94～00616-106 (13ton)
排出権償却期限：2013年9月末日

CO₂排出量
EMISSIONS OF CO₂ 13,000KG-CO₂

CO₂償却量
REDUCTION OF CO₂ 13,000KG-CO₂

国内クレジットを日本国政府管理下の償却口座へ移転申請することによって、カーボンオフセットを完了いたしました。これにより、地球温暖化対策としての二酸化炭素吸収に貢献したことを、ここに証明いたします。

2013年8月22日
カーボンフリーコンサルティング株式会社
代表取締役
中西 武志

1308202104523

カーボンオフセットとは、イベント等により排出されるCO₂を他の省エネ事業により創出した排出権(国内クレジット)により埋め合わせることで、CO₂の排出を実質ゼロにできる新たな地球温暖化防止の取組みです。

このたび中特グループが提案し「第10回周南24時間リレーマラソンinYamaguchi」で初めて実施されました。

周南24時間リレーマラソンにおけるカーボンオフセットの対象は、会場の音響設備・計測設備のエネルギーや、参加者・関係者の移動(電車、車両等)に関するエネルギー使用などによるCO₂で、走行周回1周あたり0.5kg、26,000周回分の13,000kgのCO₂を削減埋め合わせ致します。

実質的にCO₂排出ゼロのクリーンな環境にやさしい大会運営への貢献を通じて、地域における低炭素社会の実現に取り組んでおります。

環境活動

緑のカーテン運動

山口県環境政策課のキャンペーンに沿って CO₂ 削減効果の高い「緑のカーテン」、「ノーマイカー」、「ライトダウン」の県民運動にグループとして出来ることを積極的に活動展開しています。

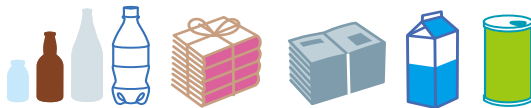
各部署別で「緑のカーテン運動」に取り組んでおり、ゴーヤ、へちま、琉球朝顔、ツルベルギア、赤花夕顔、パッションフルーツなど成長が楽しみな5～9月のメインイベントの1つです。



ごみ分別啓蒙活動

周南市ゴミ分別の一助になればとティッシュに下記のようなチラシを入れて、イベントその他機会をみつけては配付しております。

出前教育も実施しています。平成 25 年 11 月には櫛ヶ浜小学校にて環境授業を実施し、リサイクル・ゴミ分別の大切さ、分別のやり方をプロジェクター並びに実演で説明いたしました。



省エネ活動

ソーラー発電

本社車庫の屋根にソーラーパネルを設置し発電を行い、自社の電力供給・売電を実施しております。

平成 24 年度売電実績【2415kwh】

CCFL 蛍光管

本社事務所の照明に安価で安全性が高く、照度が確保できる次世代省エネ照明として「CCFL」を導入しました。

CCFL は省エネ効果は LED とほぼ同じで、初期コストが安くできます。

中特ホールディングス本社事務所右側がすべて CCFL 管にかわっておりますので機会があればご覧願います。

ノーマイカー運動

山口県、周南市主催のノーマイカー運動に賛同し、マイカー通勤者（有志）は当日は公共交通機関、相乗り、自転車、徒歩通勤など工夫し CO₂ 削減の一環になればと取り組んでいます。



平成 25 年 6 月 ノーマイカー運動参加者
マイカー通勤者の約 30% 強...21 人
削減距離合計...片道 212.4km

清掃活動

グループとして地域社会へ少しでも貢献するため各種清掃ボランティア活動への参加、あるいはグループで企画し実施しています。今後も積極的に清掃ボランティア活動に取り組んでいきます。

海岸の 清掃活動

平成 25 年 6 月 1 日に、(株)ライフの企画で下松市笠戸島はなぐり海岸の清掃を実施しました。



岩壁海底の 清掃活動

平成 25 年 8 月 10 日に行われた徳山港の海底清掃ボランティアに、当グループ社員も参加いたしました。真夏の厳しい暑さでしたが、海岸のゴミ拾いやダイバーさんが潜って見つけたゴミの引き上げ作業を行いました。



地域の 清掃活動

地域の皆様へ感謝を込めて毎月 1 回会社周辺の道路、公園等のごみ拾い清掃活動を実施しています。吸い殻のポイ捨ても多く外国の話でなく、自分自身の戒めも含めマナー向上の必要性が痛感させられます。



地域社会とのかかわり

高齢者等見守り活動に関する協定

平成 25 年 4 月 24 日、中国特殊(株)が「高齢者等見守り活動に関する周南市・ライフライン等事業関係者による連携協定」の締結をすることとなり、調印式に出席しました。

周南市も少子高齢化が進んでおり、ご高齢の方が地域社会の中で孤立化することで、介護・福祉面はもとより、防犯・防災上も危険な状況にさらされてしまう事態が生じております。そのような中で、生活に密着した事業者が行政と連携し、ネットワーク基盤を築くことで、安全・安心して暮らせる社会・住みよい周南市の構築に寄与し、多くのご高齢者の支えとなるようにとの目的で、このたびの連携協定がなされました。



いきいきサロン

地域のお困りごと相談窓口「ポータルハートデスク」事業の一環として、いきいきサロンを各所に開催出張サービスしています。

平成 25 年 9 月 6 日に周南市小畑地区の敬老会で家庭のごみ分別方法をゲーム形式で紹介しました。楽しみながら高齢化の進む地域の活性化に取り組んでいます。

その後も周南市の須々万奥地区、上村地区、新堀自治会館などに出向き、ごみ分別ゲーム・ジャグリングなどを行っています。



エコライフプロジェクト



20歳代の若手社員を中心にエコライフプロジェクトが立ち上がりました。
環境関連企業に勤務する社員として何か会社や地域に貢献できることはないかという視点で、社内外でのイベントやボランティア活動に積極的に参加しています。



パッカー車・事業所壁面の絵

地元の小学校のみなさんにご協力いただき、楽しい絵・かわいらしい絵が株式会社吉本興業の外壁とパッカー車の上で活躍してくれています。児童のみなさんありがとうございます。



地域社会とのかかわり

やまぐち男女共同参画推進事業者

男女共同参画に向けた取組内容が評価され、山口県より「やまぐち男女共同参画推進事業者」として認証されました。下記の項目が評価されたもので今後もすべての人が働きやすい職場づくりに取組んでまいります。

- ・仕事と家庭、地域生活の両立支援
- ・育児、介護休業者が職場復帰できる教育訓練プログラム制度
- ・男女が働きやすい職場環境づくり
- ・ノー残業デーによる所定時間外削減
- ・女性管理職登用
- ・女性の能力活用
- ・社員の能力アップのための研修の受講



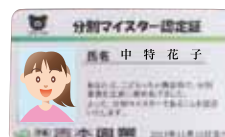
こどもっちゃ!商店街

平成25年11月23日に周南市徳山商店街(銀座通り中心)で開催された「こどもっちゃ!商店街」に参加しました。

「こどもっちゃ!商店街」とは、団体・企業の方と働く体験を通して、小学生の皆様に働く喜びを感じていただき、将来の夢を描いていただくことを目的としたイベントです。

中特グループはゴミステーションを設定し、ごみ分別体験をしていただきました。

参加した小学生には「分別マイスター認定証」をプレゼントしました。



周南市冬のツリーまつり参加

毎年恒例の周南市の一大イベント周南冬のツリー祭りに中特グループの有志が参加し、会場周辺の清掃ボランティア活動並びにゴミ分別ゲームを行いました。

日頃お世話になっている周南市のゴミを減らそうと祭り会場周辺をお揃いのピンクジャンパーを着てゴミ拾い清掃を実施して回りました。



徳山夏まつり参加

これも毎年恒例の徳山夏まつりに吉本興業が「ゴミ分別案内」「ゴミ拾いの奉仕活動」で参加し、ジュースとカキ氷の販売も行いました。

カキ氷は種類が10種類以上あり子供たちに大人気でした。

ビール販売では容器をリターナブルジョッキグラスとし、返却いただいた方には10円返却しゴミ削減に努めました。



山口豪雨災害の復旧支援

平成25年7月末の山口島根豪雨災害時には、関係機関からの依頼があり国道315号線の復旧にかけつけ、道路上の泥・岩石を除去し通行できるように高圧給水を行いました。また、暗渠・雨水管のつまりの除去作業なども実施いたしました。

通常のつまりと異なり、がれき・石が大量につき困難な作業でした。半年経過した今も復旧半ばであり、少しでも早い復旧を願っています。

中特グループも限られた装備人員ではありますが、災害時には優先的に対応可能なように準備しておきます。



東北大震災の復旧支援

CS 営業部武居浩社員が、東北地方太平洋沖地震時に影響を受けた下水道管路施設の災害復旧のため、東北地方に行きお手伝いさせていただきました。内容としては下水道管路の損傷状況をTVカメラで調査しました。今後も万一の場合、いつでも対応できるようにグループ各社とも準備しておきます。

今回の業務は東日本大震災で甚大な被害を受けた東北の災害支援でした。私が担当した地区は仙台市の山元町でした。ニュースでは被災地の状況を見てはいましたが、実際に目にとると心が痛むと同時にグッと胸がこみ上げ、涙がこぼれてしまいました。

被災された皆様には心よりお見舞いを申し上げますとともに1日も早い復興をお祈りいたします。



CS 営業部 武居 浩社員



不法投棄廃棄物回収ボランティア

平成25年10月10日に山口県産業廃棄物協会周南支部主催で開催された、光市のコバルトライン（市民の森）の不法投棄廃棄物回収ボランティア活動に中特グループ社員も参加しました。

勾配のきつい山の中での作業です。タイヤなどさまざまなものが投棄されていました。

これからも積極的に不法投棄物回収ボランティア活動に参加します！



お客様とのかかわり

Happy/Happy勉強会

私たちは、お客さまとHappy/Happyの関係を築くことをモットーにしています。

その一環として毎年1回外部講師を招いて「Happy/Happy 勉強会」を開催し、お客さまをご招待して一緒に学んでいます。

平成25年6月13日、第7回目の勉強会を下松地域交流センターやまもホールにて開催しました。講師にアマチュア落語家「上爛家勘米」として活躍中の藤谷健氏をお招きしテーマ「落語に学ぶリーダーシップ」の演題でご講演いただきました。

藤谷氏はリーダーシップの条件として、先見力・想像力と本質を見抜く洞察力、実行する勇気を挙げられました。

参加者は落語を取り入れた講演に聴き入った様子でした。



講師にアマチュア落語家「上爛家勘米」として活動中の藤谷健氏をお招きしました。

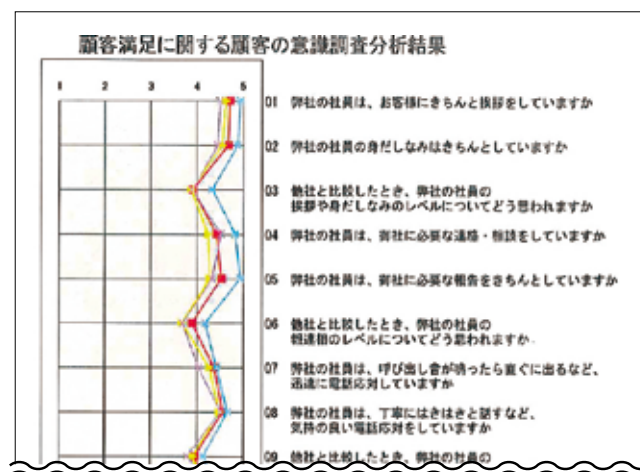
お客様満足度調査

お客様満足度調査アンケートを平成25年5月～6月にかけて実施しました。前回平成16年に実施しており2回目となります。

対象は民間企業、役所学校など公共機関、個人など約500件弱、回収は300件強で回収率66.2%でした。

中特グループの強み高評価としては「迅速で柔軟な対応力」、「明るく元気な会社」、「誠意ある徹底したサービス」、「産業廃棄物に対する技術蓄積」、「確実で質の高い仕事」などが挙げられ、弱み・低評価としては「社員の改善意識」、「報連相のレベル」、「意欲レベル」、「時間管理や仕事の内容」、並びに「コスト競争力」などが私たちグループが向上すべき課題であることが改めてわかり、強み高評価項目は維持向上を、弱み低評価項目は早急な改善を進めて行きたいと思います。

■調査資料の一部



フリーペーパー
【MIRAI】で
お客様紹介



地域で頑張っている
お店を地域の人に紹介
する活動を中特グルー
プは応援し続けます。



ポータルハートデスク（お困りごと相談の窓口）

ポータルハートデスクとは、お客様の「お困りごと」に的確にお応えする“心の窓口”です。遺品整理や不用品処分、排水のトラブル、身の回りのお困りごとの相談を受け付けています。

特に、平成25年5月1日より中国特殊㈱で、トイレ・排水管の詰まり解消24時間対応を開始しました。

中特グループ
0120-105-568
ポータルハートデスク

Portal
Heart
Desk



困ったことはいませんか？

◆ポータルハートデスク専用ダイヤル◆

0120-105-568

遺品整理 / 不用品処分 / 排水のトラブル
身の回りのお困りごとまで、なんでもOK

中特グループ
ポータルハートデスク

Portal Heart Desk

中国特殊株式会社 × 株式会社 吉本興業
株式会社 リラティブ × 株式会社 藤井興業

〒745-0801 山口県周南市久米3078-1

T-POINT 付与サービス

新たな試みとして、廃棄物処理業では県内初となるT-POINTの付与サービスを、平成25年2月より開始しました。付与されるポイント数は、請負金額100円(税込)につき1ポイントです。Tポイントカードをお持ちの周南市内の個人のお客様を対象に、ポイントを進呈しています。将来的には中特グループが個人向けに行う他のサービスにも広げていく予定です。

また、期間限定で「断捨離キャンペーン」を実施しています。これは、捨てることで物への執着から開放され、身軽で快適な人生を手に入れてみてはというお客様への提案で、T-POINTを通常の3倍付与やその他商品券贈呈などのサービスを実施しています。

捨てる！変わる！トキメク！

中特グループで
断捨離 [ダンシャリ] しませんか？

不用品処分のご依頼はポータルハートデスクへどうぞ！**無料**でお見積りいたします！

ポータルハートデスク
0120-105-568

貯まります。使えます。

中特グループ
ポータルハートデスク + T-POINT

中特グループでは不用品処分等をお任せいただきますと、T-POINT が貯まります。

Tポイントが貯まる対象内容とポイントについて

- 引越に伴う不用品処分
- ご家庭の粗大ごみ処分
- 遺品整理

100円につき1ポイント

※個人契約に限ります。(法人契約は異なります)

無料でお見積りいたします。ご依頼はポータルハートデスクへどうぞ！

お問い合わせは下記フリーダイヤルへ
ポータルハートデスク専用ダイヤル
0120-105-568

ホームページからメールでお見積りお問い合わせ・ご依頼ができます
<http://www.portalheartdesk.com/>

中特グループ
株式会社 吉本興業

〒745-0801 山口県周南市久米3044-2

お客様とのかかわり

CUSTOMER ISSUES

やまぐち総合 ビジネスメッセ2013への参加

平成25年10月25日～26日に周南市麒麟ビバレッジ周南総合スポーツセンターで開催された『やまぐち総合ビジネスメッセ2013』に、(株)中特ホールディングスが出展いたしました。

『やまぐち総合ビジネスメッセ2013』とは県内約200の企業や団体がブースを設けて開発製品やサービス・技術を展示する県内最大規模の展示会です。



下松リサイクル工場で行っている汚泥のリサイクルプロセスのご紹介や、ダチョウ飼育による食品リサイクルについての取り組み、また遺品整理や不用品処分などの対応窓口である『ポータルハートデスク』のPRをさせていただきました。

法務セミナー

中特グループカスタマーセミナーと銘打って、お客様のお困りごとの対応、私たちの知識向上レベルアップのため、法務勉強会を企画開催しました。「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」に関する解説、疑問点の解答などグループ法務顧問の尾上雅典先生にご講義いただきました。



中特グループ

第一回 法務セミナー

廃棄物に関する疑問点 お困りごとにお答えします。

講師 中特グループ法務顧問 尾上 雅典氏

質問例

- 値段重視で委託業者を選んだが、審査で気をつけないといけない点は？
- 処理困難通知が届いたが、どう対処すれば良いですか？
- 処理業者の現地確認を行う際にチェックをする点は？

などお気軽にご質問下さい。

開催日時 **11月22日(金)** 14:00～16:00

● 受講料無料!
● 申込締切 11月15日(金)

会場 **中国特殊株式会社
2F 会議室**
山口県周南市大字久米 3078-1

● どなたでも参加できます。事前に質問内容がわかれば当日、優先的にお答えします。

● 申込み先
〒751 中特ホールディングス
周南市大字久米 3078-1
TEL (0834) 26-0500
FAX (0834) 25-2856

社員の研鑽と親睦活動

EMPLOYEES' ACTIVITY

事業発展計画発表会

経営者の思いを伝え、年度目標や方針を徹底することを目的に、毎年9月、「事業発展計画発表会」を開催しています。発表会後の懇親会は、社員の自主企画による催し物がとても好評で、毎年大いに盛り上がっています。平成25年9月7日周南市遠石会館にて開催いたしました。



中特グループ代表あいさつ
吉本英子



グループ副代表橋本ふくみ発表
今期テーマ 人の『わ』～和・輪・話～



講演されるサマンサジャパン 小野会長様
演題『感謝する人生』



各部門表彰



発表会の様子



懇親会の様子

リーダー研修会

中特グループの業務推進のかなめであるグループリーダークラスの方々に対し定期的にリーダー研修会を実施し、レベルアップを図っています。

- 平成25年7月13日
〈テーマ〉新中期ビジョン・新年度経営目標
- 平成25年2月16日
〈テーマ〉目標達成

また、幹部研修・部門研修その他各部門・各職位において各種研修会を企画実施しております。



社員の研鑽と親睦活動

社員表彰

毎年事業発展計画発表会席上において会社の業績等に功績のあった社員を表彰しております。

最優秀部門賞
永年勤続表彰
改善提案部門・最多提案個人賞
改善提案部門・最多提案部門賞
改善提案部門・優秀提案個人賞

5S 部門賞
マナー部門・笑顔が素晴らしいで賞
マナー部門・身だしなみが素晴らしいで賞
マナー部門・あいさつが素晴らしいで賞



最優秀賞

改善提案部門
最多提案賞 (部門)
改善提案部門
最多提案賞 (個人)



特別賞

永年勤続部門
(勤続 20 年)



改善提案部門・優秀提案個人賞



5S 部門賞



マナー部門賞 笑顔が素晴らしいで賞



マナー部門賞 身だしなみが素晴らしいで賞



マナー部門賞 あいさつが素晴らしいで賞



自己啓発活動

周南掃除に学ぶ会

平成25年10月26日に周南市立徳山小学校で開催された第25回「周南掃除に学ぶ会」に、中特グループからは9名参加させていただきました。

素手でトイレを磨くことにははじめは抵抗がありましたが、ひたすら擦るうちに汚れを落とすことに集中して時間があっという間に過ぎていました。

トイレをピカピカに掃除することができ清々しい気持ちになりました。



～自己啓発支援制度～

- － 自ら学ぶこと：自己啓発を重視します。
- － いろいろな仕組みを用意し、意欲のある人にはどんどんチャンスを与えます。

・資格認定・自己啓発支援制度

社員の育成に注力をし、社員もまた自ら能力向上に取り組み、その能力を十分に発揮することで高い成果を上げることができるよう制定しています。

資格分類認定

- ・業務上必須必要資格講習
- ・業務関連資格講習
- ・スキルアップ資格講習

※認定する資格については資格ごとにポイント設定をし、社員ごとに取得した「資格ポイント」を算出することとしています。

・社外セミナー、講習会、研修会への参加

各事業部・グループごとに個々の社員の資格・講習の取得について年計画を作成し、計画的に参加派遣しています。

各種勉強会・講習会の開催

各種勉強会

各部門ではそれぞれ個別に各種勉強会を計画実施しています。

平成24年10月にはHOSグループで「原価管理」について、自分たちの業務の収益構造に意識を高めるべく、中特グループ経営企画顧問澄田税理士から基本を学びました。その他種々の自主勉強会・研修・訓練等を実施しております。



各種講習会

平成24年12月4日にクボタ浄化槽システム(株)支店長 森井司様、営業開発部長 磯田次良様、技術サービス担当係長 藤井貴洋様をお招きして浄化槽の講習会を開催いたしました。実際の浄化槽を用いて分かりやすく教えていただきました。

講習会で学んだことを今後の業務に生かしお客様サービス向上に役立てます。



社員の研鑽と親睦活動

周南24時間リレーマラソン参加

平成25年9月28日～29日、周南緑地公園にて開催された周南24時間リレーマラソンに参加しました。

第10回を数える周南市恒例の行事です。中特グループでは第1回から連続参加しており、過去最高成績は130チーム中70位という素人集団では驚くべき成績も持っております。出場者は練習を重ねて見事完走を果たしました。選手以外にもサポーターとして全社員が参加しました。また、「カーボン・オフセット」する新たな環境の取組みを提案実施し、実質的にCO₂排出ゼロのクリーンな大会実現に貢献しました。



社員旅行

急速に変化する国内外の動きを直接目で見、肌で感じて、視野を広めることを目的に、毎年社員旅行を実施しています。平成24年度は、「躍進する韓国を肌で感じる」というテーマで「ソウル」に行きました。平成25年度は古い日本も知るといことで世界遺産の熊野古道に行きました。



ソウル「躍進する韓国を肌で感じる」



日本の良さも知る、世界遺産熊野古道を歩く



熊野本宮大社にて

社員親睦会

春の「花見」や夏の「ビアガーデン」、
「ボウリング大会」など、部門間の交流
を深め社員相互の親睦を図ることを目
的として、年に数回、社員親睦会を開
催しています。



誕生日ケーキ贈呈

従業員全員の誕生日には会社幹部から誕生日ケーキの贈呈をしております。

家族からだけでなく会社からも祝福され生きていること・働くことの大切さを噛みしめるとともに、次の業務への意欲が高まるものと思っております。

また、ケーキの味も評判となるほど好評です。

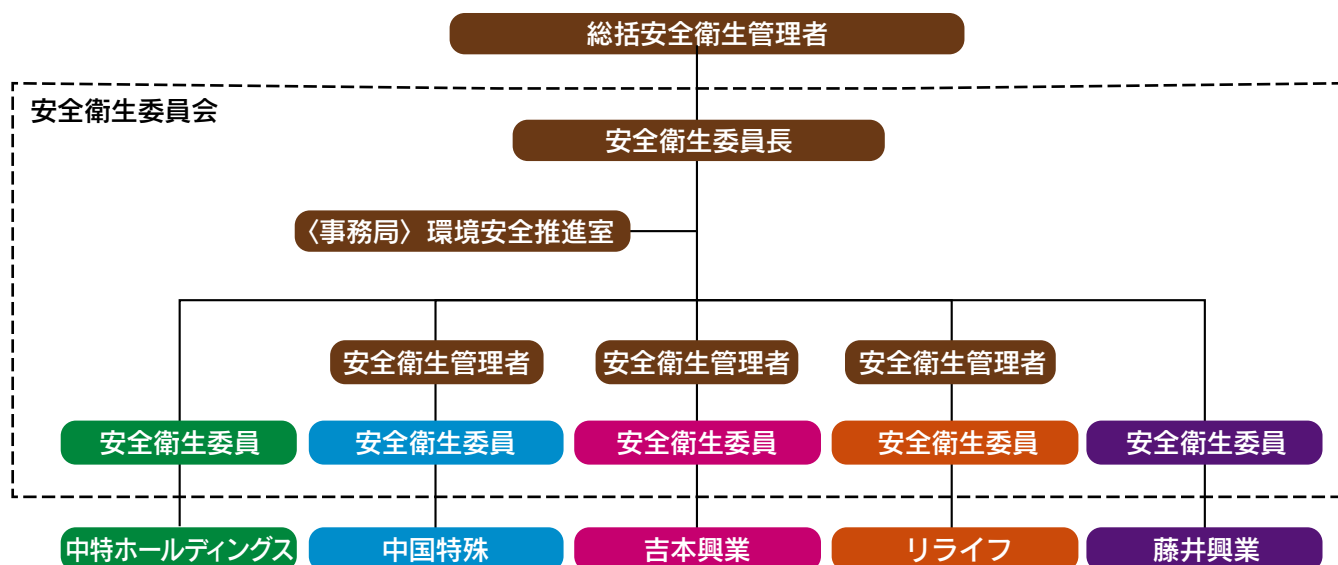


安全衛生・防災活動

安全衛生・防災は全てに優先することを基本とし、労働安全衛生法など関連法令その他各種標準（JIS他）に定める基準を遵守すること、さらにはグループ内の各種基準類にもとづき、施設の建設、設備の導入、安全な操業の実施を行っています。

中特グループの安全組織

関連法例では規模により（10人～50人では）安全衛生推進員を選任することになっていますが、私たちはより大きな100人規模を超える事業所の体制に相当する対応をしており、総括安全衛生管理者・安全衛生管理者を選任するとともに、安全衛生委員を選任、安全衛生委員会を毎月開催、専任部署（環境安全推進室）を設けてグループ全体の安全衛生防災活動に取り組んでいます。



交通事故防止対策の推進

交通事故防止は最重点課題の1つですが、業務の性格上、運搬移動作業が非常に多く事故が散発するため、事故の撲滅を図る種々の活動に取り組んでいます。

交通事故防止講習会



定期的に外部講師を招いて講習会を実施しています。

安全な運転方法、運転中に注意すべきこと、事故が起こった場合の対応など専門家からアピールしていただきます。

誘導訓練



㈱吉本興業では、大型車を使用しており、死角が多く、適確な誘導が欠かれないので、定期的に誘導訓練を実施し事故防止を図っています。

ヒヤリハット・事故事例検討会



交通事故撲滅を図るためヒヤリハット事故事例の原因掘下げをグループ討議で実施し類似事故を起こさない様に努めています

消火訓練他種々の訓練実施

他社ではパッカー車火災などの事例もあり、弊社においても収集した廃棄物の中に可燃性ガスの入ったものが混入し火災となった事例もあることから、定期的に消火訓練などの防災活動を実施しております。



事業継続計画BCPの策定

東南海の大規模地震の発生、或いは鳥インフルエンザなどいつ何時事業継続を阻害することが発生するかわかりません。

中特グループでは業務が市民生活と直結していますのでいざという時の事業継続については事前検討を十分に行い、暫定的ではありますが事業継続計画（BCP）を作成し、万一の事態に備えています。

地震対策行動基準(事業継続計画:BCP)		
本基準は、大地震に備えると同時に、大地震が発生した際に従業員とその家族の生命の安全確保と 安否確認、更には地域への貢献・共生、並びに事業継続計画策定を行うものとする。		
段階	区分	計画実施内容
事前準備	社内体制	社内における地震対策を事務局(環境安全推進室)中心に危機管理本部及び環境安全衛生委員会にて行う。 将来予想される東南海トラフ巨大地震を想定し、周南地区において震度5以上の地震並びに津波発生を想定しその対応策を示す。
	想定内容	重要データのバックアップを2拠点以上で実施する。 非常時の必要要員と対応可能な対象者(応援含む)を確認しておく。 各部門別に非常時の連絡網を作成しておく。 NTT伝言ダイヤルなど連絡網が機能しない時の対応も確認しておく。 避難場所 山口県東部中部の指定避難場所を確認、必要により印刷し備蓄する。 教育訓練 教育訓練等を数回/年の頻度で計画実施する。 緊急救命 緊急救命できる人を2拠点別に確保しておく。 非常搬行物品 非常時対応物品を事前に確認し準備しておく。 対策対応 建物・設備等の耐震診断並びに耐震化を実施しておく。

新型インフルエンザ対応基準(事業継続計画:BCP)		
本基準は、新型インフルエンザが大流行した際の、従業員とその家族への感染防止の諸対策、事業継続計画を策定する。		
段階	区分	計画実施内容
未発生期 ～ 海外発生期 第1段階	社内体制	社内における新型インフルエンザへの対応を環境安全推進室を主体に各職制、環境安全衛生委員会で行う。 事務局(環境安全推進室)及び環境安全衛生推進委員会を中心に情報収集する。 産業界・医療機関との関係機関との未然防止策対応等の連携を図る。 感染防止策、社内体制の確認、並業業務の代替要員技能取得等を実施する。
	情報収集	発生地域、感染拡大状況、病原性・治療方法・感染力、医療対応等 感染防止策の確認並びに教育、事業継続計画の点検・是正 準備対応
国内発生早期 第2段階	現状把握	事業継続に必要な要員(人員、物資等)の確認並びに確保 事業継続計画の具体的な実行開始
	社内体制	必要により、臨時委員会・危機管理本部等を招集 情報収集・再確認(政府・地方自治体・医療機関・報道その他) 発生地域、感染拡大状況、病原性・治療方法・感染力、医療対応等 感染防止策の確認並びに教育、事業継続計画の点検・是正 準備対応

東南海巨大地震の想定訓練

東南海の巨大地震の対応については、作業の性格上県内各所で遭遇する可能性があるため、BCP作成のみならず、県内各地域の避難場所一覧表を作成携行するとともに、想定訓練を実施し連絡網の確認、非常時の対応役割分担等、さまざまなことを想定訓練し、万一の事態に備えています。

平成25年2月 東南海巨大地震想定訓練

《想定内容》

南海トラフの巨大地震発生、震度5強～6弱、津波警報発令、津波到達は約2時間後、津波：高さ4m前後、早めの高台避難が必要

《実施内容》

緊急連絡(緊急連絡網の確認)、防災訓練の実施、初期消火訓練の実施、災害対策本部規定に基づく訓練、その他

《反省点》

- ・4mの津波に対し災害対策本部をどこにすべきか
- ・避難場所の周知徹底
- ・自助、共助、公助の認識徹底

- ・災害対策本部規定の役割の認識不足
- ・ハザードマップに沿った避難場所の共有
- ・安否確認に時間がかかり過ぎ
- ・連絡中に内容が変わる。(伝言ゲーム)
- ・山間部に行ったときの対応
- ・グループ行動、バラバラのときの対応
- ・携帯電話の連絡が錯綜の恐れ

……………その他

⇒反省点については個々に対応、繰返し訓練実施

採用活動と人事制度

PERSONNEL SYSTEM AND RECRUITMENT

会社説明会

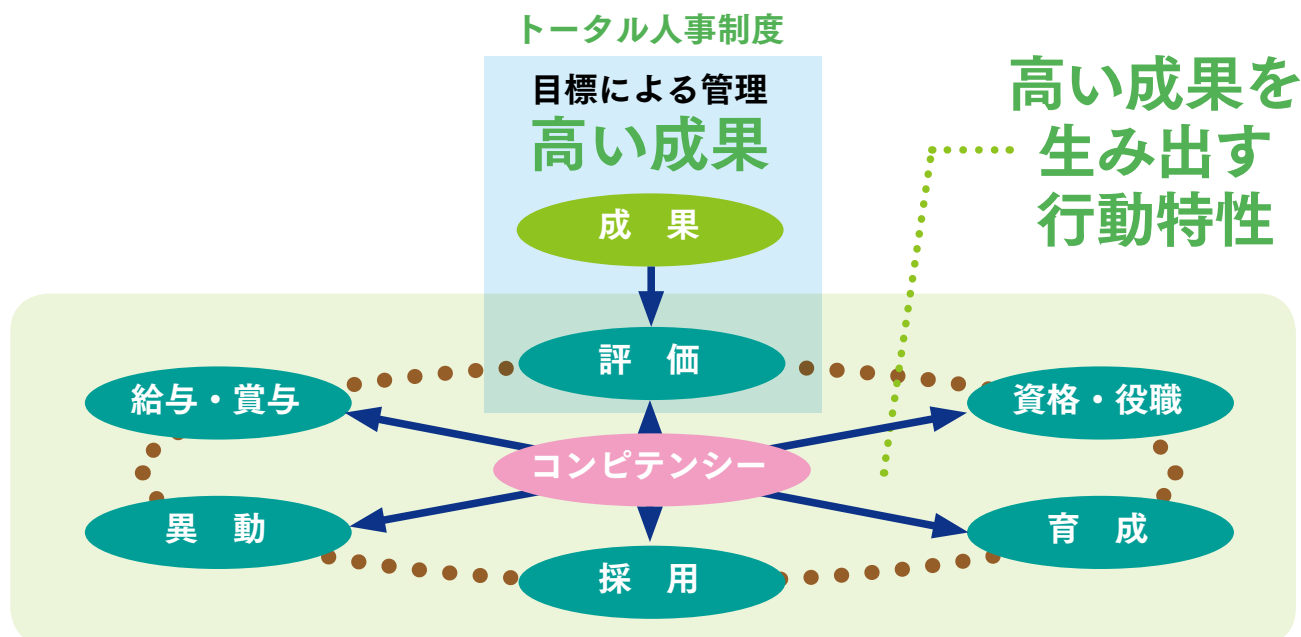
- ・会社説明会開催
- ・リクナビ 2014 開幕★LIVE に参加
- ・ふるさと山口合同企業就職フェアに参加
- ・山口大学学内企業研究会に参加



トータル人事制度

当社は、採用・育成から人事異動、評価・処遇まで一貫した方針で行なう**トータル人事制度**を構築しています。

“高い成果を継続的に生み出す行動特性”として定義される「**コンピテンシー**」と、目標による管理制度による「**成果**」（目標の達成度と達成のための工夫・努力）を尺度として、**各自の能力や成果を公平・公正に評価し、給与・賞与や資格・役職**を決めています。



会社概要

COMPANY OVERVIEW

グループ統括

中特ホールディングス

所在地：山口県周南市大字久米3078番地の1

設立：平成24年4月

代表者：吉本 英子
橋本 ふくみ

資本金：3,000万円

従業員：13名（平成25年11月1日現在）

中国特殊株式会社

所在地：山口県周南市大字久米3078番地の1

設立：昭和41年2月1日

代表者：橋本 ふくみ

資本金：2,000万円

売上高：4億82百万（平成25年7月期）

従業員：29名（平成25年11月1日現在）

事業内容：一般廃棄物収集運搬業

産業廃棄物収集運搬業

産業廃棄物処分業

下水道維持管理業

建設業

浄化槽保守点検・清掃業

株式会社 吉本興業

所在地：山口県周南市大字久米3044番地の2

設立：昭和42年7月

代表者：吉本 妙子

資本金：1,000万円

売上高：3億65百万（平成25年7月期）

従業員：33名（平成25年11月1日現在）

事業内容：一般廃棄物収集運搬業

産業廃棄物収集運搬業

産業廃棄物処分業

リサイクル業

株式会社 リサイクルフ

所在地：山口県周南市大字久米3078番地の1

下松リサイクル工場

山口県下松市東海岸通り18番地の1

設立：平成元年2月

代表者：吉本 英子

資本金：4,000万円

売上高：2億72百万（平成25年7月期）

従業員：8名（平成25年11月1日現在）

事業内容：産業廃棄物収集運搬業

リサイクル業

産業廃棄物処分業

計量証明事業

株式会社 藤井興業

所在地：山口県周南市宮の前二丁目2番12号

設立：平成5年4月

代表者：平岡 仙吉

資本金：1,000万円

売上高：42百万（平成25年7月期）

従業員：4名（平成25年11月1日現在）

事業内容：一般廃棄物収集運搬業

産業廃棄物収集運搬業

貯水槽清掃業

編集後記

Editor's note

中特グループ CSR 報告書をお読みくださり、ありがとうございます。ご寄稿いただきました方々、制作にご協力いただいた方々に心よりお礼申し上げます。

私たち中特グループとしては初めての CSR 報告書発行です。

内容に不十分な点多々あるかと思いますが、是非皆様方のご意見を参考に
して、さらにより良い CSR 報告書づくりに取組んで行きたいと考えておりますの
でよろしくお願いします。

中特ホールディングス
環境安全推進室 遠藤 清治



中特グループ



0120-105-568

中特ホールディングス

〒745-0801 山口県周南市大字久米 3078 番地の 1 TEL: 0834-26-0500 / FAX: 0834-25-2856
<http://www.chutoku-g.co.jp/> Eメール info@chutoku-g.co.jp

中国特殊株式会社

〒745-0801 山口県周南市大字久米 3078番地の1
TEL: 0834-26-0500 / FAX: 0834-25-2856

株式会社 吉本興業

〒745-0801 山口県周南市大字久米 3044番地の2
TEL: 0834-25-0423 / FAX: 0834-25-2939

株式会社 リーライフ

本社：〒745-0801 山口県周南市大字久米 3078番地の1
TEL: 0834-33-8685 / FAX: 0833-25-2856
下松リサイクル工場：〒744-0002 山口県下松市東海岸通り18番地の1
TEL: 0833-44-0007 / FAX: 0833-44-1007

株式会社 藤井興業

〒746-0017 山口県周南市宮の前 二丁目2番12号
TEL: 0834-63-1294 / FAX: 0834-25-2856